

■谷風梶之助(二世) 力士。第4代横綱。天下無敵の強さに人徳があって江戸随一の人気，現役中，流行性感冒で早世。
たにかぜかじのすけ
・・・・・・1750 = 陸奥国宮城郡霞目村で，金子弥右衛門の三男に生まれる。本名金子与四郎。
徳川吉宗没・1751 = 1歳：

宝暦事件・・1758 = 8歳：母を失い，父を助けるため奉公に出た。
大忒政治批判1759 = 9歳：
大岡忠光没・1760 = 10歳：

巨軀で力持ちだったことから，

明和事件・・1767 = 17歳：見出されて，伊達氏の重臣白石城主片倉氏に召し抱えられ相撲を修業，
久留米藩工事1768 = 18歳：
・・・・・・1769 = 19歳：*江戸に上がって，伊勢ノ海部屋入門し，初土俵。当時流行の看板大関に付け出され，秀の山と名乗る。

田沼意次老中1772 = 22歳：初優勝。

兩月物語刊・1776 = 26歳：谷風梶之助を襲名。
・・・・・・1777 = 27歳：
船蝦夷来 1778 = 28歳：この年から，

天明大飢饉始1782 = 32歳：*63連勝し，京坂場所を入ると98連勝，天下無敵の名をとどろかせ，大関に昇進。

田沼意次失脚1786 = 36歳：

初の横綱・・1789 = 39歳：*小野川喜三郎とともに初の横綱免許を受けた。

松平定信引退1793 = 43歳：
わが 正月・1794 = 44歳：なお現役を続け，この年も2場所とも全勝だったが，
写楽・・・1795 = 45歳：*流行性感冒のため帰郷療養中病没。このため江戸では感冒を"谷風"とっておそれたという。
その間，27年44場所，258勝し，負けはわずか14回。189cm,169kg，腹の周囲217cmもあるアンコ型だった。